

アンケートの実施について

実施期間：7月上旬～7月21日（火）

i) 結婚・妊娠・出産・子育てに関するアンケート

本市の出生数は年々減少しており、合併直後400人前後あった出生数は25年度には276人まで減少している。減少の要因としては、全国的な傾向である未婚化、晩婚化が考えられるが、本市の平成22年度の国勢調査では、20～49歳の未婚率は35.8%を超えている。

結婚、出産に対する市民の意識・希望調査を行い、今後の市の人口の将来像を見据えるとともに、総合戦略の柱の一つである少子化対策として、適切な施策の検討を行う。

◆対象 ①市内に居住する20～49歳の男女 2000人

(参考：H26年度末15,868人)

②項目数 22

③項目例 パートナーとの出会い、結婚した理由、将来持つ予定の子どもの数、理想とする子どもの数、結婚、妊娠、子育てしやすい環境

ii) 転出・転入等に関するアンケート

本市の年齢3区分別人口の増減率を、今年度推計値と前回国勢調査値とで比較すると、生産年齢人口の減が6.8%と大きく（老年人口1.8%増、年少1.6%減）、その要因は社会減によるものが大きいと考えられる。

このことから、転出・転入者の家族構成、転居理由、転居前後の住居、能代市の満足度等を把握することで、転出による流出に歯止めをかける、施策の検討を行う。

◆対象 ①20代～60代の転入者400人、転出者400人

(参考：H26年度 転出1510人、転入1223人)

②項目数 各12

③項目例 転出、転入の理由、能代市に住んで満足、不満

iii) 進路等に関するアンケート

転出者の年齢層をみると高校卒業～20代前半の若者の転出が多くなっている。進学先・就職先を選ぶ際に重要視するものなど、高校生・専門学生の意見や希望を広く聴取するとともに、その保護者の意見も聞き、地元就職を図る手がかりを探る。

◆対象 ①市内高校・専門学校3年生774人とその同居の保護者

②項目数 子18、親8

③項目例 進学・就職希望の地域、その理由、就職の際に重視すること、結婚、子どもを持つこと等のイメージ
お子さんに望む進路、希望の職、定着に必要なこと

iv) 雇用状況等に関するアンケート

働く場としての雇用の状況を把握するため、企業・事業所に市内での企業活動の状況やしやすさ、今後の将来展望、雇用環境などの状況調査を実施する。

- ◆対象 ①市内200社 (参考: 27年6月現在 1445社)
- ②項目数 19
- ③項目例 企業活動のしやすさ、しにくさ、メリット、
行政に望む支援メニュー、雇用や就業の環境

※このほか、全市民を対象とし意見募集を行うため、8/25又は9/10号の広報のしるしに、専用の用紙を折り込み、配布することとしております。